

目次

1面

すべての力を新しい民主朝鮮建設のために
平壤市歓迎群衆大会における演説 金日成

2面～4面

編集委員座談会 壊憲阻止闘争の前進のために
反中国・反朝鮮の「脅威論」と徹底的に闘おう！
運動の広がりへの追求とともに問題の本質をとらえた原則的な主張を
逢坂秀人(文化活動家)、沖江和博(国際問題研究)、高橋省二(文化活動家)、
土松克典(韓国労働研究)、日向よう子(HOWS受講生)、広野省三(編集者)、山下勇男(社
会主義研究)、米丸かさね(編集者)

詩 月桃 — 伊都子忌によせて 河津聖恵

4面～5面

発言 戦後七〇年を問う——壊憲と歴史歪曲の流れに抗して
「軍隊は住民を守らない」の教訓 目取真 俊(作家)

「パリロ解放」七〇年に寄せて 卞宰洙(元朝鮮大学校教授・文芸評論家)

「邪悪なる路」に抗して 石川逸子(詩人)

改憲阻止の広範な国民戦線を 小森龍邦(部落解放同盟広島県連顧問)

在韓被爆者の対日請求権問題の完全解決を 市場淳子(在韓被爆者支援活動家)

エッセイ 70年目の「8・15」に寄せて
継続する植民地主義の深化 黄 英 治(作家)

6面

軍事要塞にされる琉球孤・宮古島
安保法制攻撃最前線での島民の闘い 清水早子(ピースアクション宮古島)

安倍政権下で急速に進む大学教育再編
財界の要請に沿って新自由主義的改革を徹底 吉沢弘志(埼玉大学教員)

7面

長野県上田市での戦争法案反対の闘い
市役所前座り込み行動を貫徹！ 力石俊次

安倍政権に辺野古埋め立てを断念させよう
首都圏を中心とした八月後半の取り組み 編集部

朝鮮学校「無償化」除外攻撃との闘いはいま
朝鮮学校への攻撃は日本の平和と民主主義を瓦解させる
金東鶴(在日本朝鮮人人権協会)

下村文科大臣は八つの大罪によって、即刻辞任すべし！
森本孝子(「高校無償化」からの朝鮮学校排除に反対する連絡会)

8面

派遣法改悪反対闘争のひとつの視点

「専門性」を超えた労働者の団結を！

井澤絵梨子（大阪教育合同労働組合）

井上眼科不当解雇反対闘争 東京地裁が解雇無効の勝利判決

田沼久男

大阪 「君が代」起立職務命令は憲法違反！

懲戒処分を受けた教員が集団訴訟

辻谷博子（「グループZAZA」）

9面

国際政治時評 キューバと米国が国交を再開

社会主義の旗を守り抜く

沖江和博

紙つぶて

劇『土龍』と現代の脱出願望

野田光太郎（東京都在住）

三宮連載から何を読み取るか

五郎丸聖子（東京都在住）

歌 ぐによぐによ（歌集『亞天使』より）

加部洋祐

10面

書評 『歴史は墨でぬりつぶせない——アジアの歴史と女性の人権』（中原道子著）

希望を求めるナビ（蝶）の羽ばたき

前田 朗（東京造形大学）

書評 『私の労働研究』（熊沢 誠 著）

熊沢光子の自死をめぐる

土田宏樹

書評 『増補新版 毒ガスの島』（樋口健二 写真・文）

今、「毒ガス島」の意味するもの

渥美 博

催物案内

11面

反戦映画——わたしが薦めるこの三本

七〇年目の「8・15」——映像を通じて戦争と平和を考える

立野正裕（明治大学教員）、岡野奈保美（埼玉在住）、井野茂雄（文化活動家）、

福田隆博（兵庫県在住）、林 輝一（東京都在住）、遠藤裕二（映画研究）

前照灯 軽々しい言葉

12面

被爆七〇年、《原爆の図》アメリカへ行く

国境を越え一人の人間としてこの作品に向き合う

岡村幸宣（原爆の図丸木美術館学芸員）

頂門一針 偲ぶだけでよいのか？

福岡アジア美術館企画展 〈イマジン—争いのない世界へ〉

争い（戦争）は何によっておこり、何によって終わるか

岡本茂樹

編集部発